ぞうぐみだより

2021 年度 1 月号　社会福祉法人尚徳福祉会　生麦保育園

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします❀

冬本番を迎え、冷たい北風が吹きつけるようになりました。それでも子どもたちは「そとにいきたい～！」「そとはさむいけどテラスであそびた～い！」と元気いっぱいに遊ぶ姿がみられます。卒園式まであっという間の保育園生活、最後まで思いきり楽しみたいです。

おたのしみ会

先日はおたのしみ会にご参加いただき、ありがとうございました。年長になり、歌や合奏や劇など覚えることが多くあり、最初は「ぞうぐみさんってやることいっぱいだね」といっていた子どもたちは日々の保育の中で練習を通し、少しずつ形にしていくことができました。練習では、なかなか大きい声がでなかったり、自信がなかったりなど、緊張している様子が伝わってきましたが、本番当日はいつもと変わらない様子で登園し、保育者の方が緊張していました。歌や劇の声は大きく、練習の時以上に元気いっぱいでキラキラの笑顔で、楽しみながら参加している姿が本当に嬉しかったです。合奏も自分のパートに集中し、最後までやり遂げることができました。おたのしみ会が終わった後は、自分のやっていない役になりきって楽しみ、ナレーターは大人気でみんなでやっていました♪

クリスマス制作

12 月の制作とリース制作を行いました。制作をすることを伝えると「やったー！もうすぐクリスマスだよね！」とクリスマスの話で盛り上がりました。12 月の制作では、白の絵の具で雪を表現し、折り紙でサンタさんを折ったり、自分で想像したクリスマスツリーをはさみで切ったりしました。特にはさみでジグザグに切るのが難しかったようで「むずかしい・・・どうしよう・・・」と悩んでいる子もいましたが、分からないことは友だちに聞いて行なっていました。リース制作では、折り紙を重ねて貼り、リースの土台を作ってから飾り付けをしました。制作をしている様子を見て回っていると、同じような作り方でも、一人一人個性がでていて、シンプルに飾り付ける子もいれば「キラキラにしたいの」といい、最後まで夢中になって取り組む子など様々でした。子どもたちが制作したものを廊下に飾ると「かわいい！」「サンタさんきてくれるといいね♪」など会話が盛り上がり、クリスマスが待ち遠しいようでした。

おねがい

鼻水や咳など体調不良の時は、無理のない登園にご協力お願いします。

手足の爪の確認もこまめにお願いします。